

遊文舎社員も初心にかえり学ぶ

今年もインターンシップの優秀な学生さんを
8月19日から8月30日まで、2名お迎えしました。

大阪教育大学
教育学部 教養学科 3回生

北川 晴香さん

： 会社で大切なのは「人のつながり」。
： 技術だけじゃなく人として、
： 成長させていただきました！

2週間という短い間でしたが、ポスター、パンフレット、名刺、企画書などの制作だけでなく、営業や撮影にも同行させていただきました。

学校での制作より時間も限られ、様々な作業を並行して行わなければならず、大変な事も多かったのですが、遊文舎の皆様や、一緒にインターンを受けた谷口さんに助けられ、楽しく2週間を過ごすことができました。

印象に残っているのは企業イベント企画のプレゼンテーションです。企画書作りは初めてで、人前で話すのが苦手だったので、課題を聞いた時は不安だったのですが、2週目に入るときには作業にもようやく慣れ、自分が何を目的として課題に取り組んでいるのかも分かってきました。最終週、木曜日のプレゼンでは多くの方に来ていただき、感想やアドバイスを頂いたことで、自分の2週間の成果を振り返ることもできました。技術面だけでなく、人として成長できたことが、今回のインターンシップで得た最大のものだと思っています。

会社で作業をするというのは今までにない経験で、学ぶことも多かったです。パソコンに向かいがちな仕事ですが、お客様と対話し、何を必要とされているかを聞いたり、印刷物を直接届けたり、人と人とのコミュニケーションが重要な仕事だということも実感しました。今後、ますますIT化が進んでいくと思いますが、私は人のつながりを大切にしたい仕事に就きたいです。

大学に通うのもあと1年半。最後まで充実した学生生活を送り、実際に就職する時に、一人前の社会人になれるよう、今回の経験を活かしたいと思います。

谷口 萌さん

大阪電気通信大学
総合情報学部 デジタルゲーム学科 3回生

： 制作・取材・営業同行……
： 学生生活だけでは学べない現場の空気と
： プロのお仕事。
： 毎日が充実していました。

インターン実習を終えて、2週間がとても短いと思えるほど毎日が充実しており、楽しく制作することができました。

私はインターン実習を受ける前に目標を3つ立てていました。

1つ目は「自分の実力が実際の仕事でどのくらい通用するのかを知る」こと。

2つ目は「何事も積極的に取り組む」こと。

3つ目は「社会人としてのマナーを身につける」こと。

この3つを意識しながら実習を受けました。

毎日、テーマに沿って課題制作をしていました。時には実際に依頼された仕事にスタッフとして参加させてもらいました。

まず驚いたのは、制作のスピードでした。私はなかなか思いつかず完成まで時間がかかってしまいましたが、毎日仕事しているプロは短時間で案をまとめ、形にしていました。今の私ではまだまだ案を短時間に多く出すということができないということを実感しました。

課題制作の他に、取材や営業同行もさせていただきました。これは私自身興味があったので、行くかどうか聞かれたとき、とても嬉しかったです。

自分で思っていた現場のイメージと実際は想像通りのところもあれば、そうでないところもありました。現場でのテクニックも教えていただきました。これは積極的に同行させてもらったからこそ学べたことです。営業同行の際には名刺交換をさせていただきました。色々不安なところがありましたが、なんとか上手くできました。

普段の学生生活では学べないことを沢山学ぶことができました。今回学んだことを、今後の自主制作や就職活動に活かしていきたいと思っています。

2週間ありがとうございました。

最高の出会いを 求めて

フィッシング編

ビッグバス GET!!



仕事も趣味も真剣勝負。
だからおもしろい!

営業1班
坂根さん

制作課
大西さん

※世間では外来魚として日本の固有種を食い荒らす悪者の印象が強いと思います。でも、ルアー釣り愛好者にとっては絶好のゲームフィッシュなのです。20年ぐらい前にキムタクと糸井重里さんのおかげで大ブームがおきました、これが正直迷惑な話で、若い「にわか釣り師」が釣り場（池やダムなど）にあふれ、ギャルと一緒にマナーもなしで、ゴミは散らかす、迷惑駐車はするわで、も〜最悪！私たち正道の釣り師としては迷惑千万、おかげで釣り禁止の場所が増え、悲しいかな手軽に釣りが楽しめなくなりました。

皆さん、ブラックバス（略称：バス）ってご存知ですか？*

この釣りの醍醐味は餌を使用した釣りとは違い、一般にルアー（疑似餌）と呼ばれる魚の形をした針がついている物体を投げて、ロッド（竿）アクションでルアーに生命感を与え、魚を喰いつかせる手法のひとつ。特にバスはその引きの強さ、釣り上げるまでのプロセス、シーズン・場所を問わずにできる手軽さ等々魅力にあふれた対象魚です。

現在、私はバス歴約20年、会社の同僚と月一回ペースで淡路島や兵庫県東播磨の野池に通っています。ここ10年程はフローターと呼ばれる専用の浮き輪のようなものに乗って、野池にぶかぶか浮いて釣りをしています。フローターを使うと今までの『おかっぱり』と呼ばれる岸から投げる釣りと違い、岸からでは届かなかったバスのいそうなポイント（木の下や障害物など）まで静かに近づける強味があります。おかげで釣果も楽しさも倍増！ここぞというポイントにそーっと近づき、ルアーを投入、ルアーにアクションを加え、はまれば入れ喰い状態も味わえます。

バスは最大60センチ以上になり、50センチを越えるとランカーと呼ばれ、バサー（バス愛好者）のステータスとなっています。ランカーの引きは半端ではなくロッドが弓なり、そこをたくみなロッドワーク（竿さばき）を駆使してバレないように釣り上げます。釣り上げると手が震え、アドレナリンが流出！この瞬間が最高なんです。

釣り方もいろいろ。一番エキサイティングなトップウォーターがおすすめです。水面にルアーを浮かべアクションさせると、水面直下からバスがルアーめがけて飛び出します。その迫力は病み付きになるほどで、これ専門で釣りをする人たちが大勢います。まして苦勞して自作したルアーで釣れば超感激！面白さは無限大です。

多忙な毎日を送られておられる皆様、雄大な大自然の中、癒しを求めてのんびりと釣りを楽しんでみてはいかがでしょうか？バス釣りはライト感覚で楽しめる面白さ抜群の遊びですよ。ただし、マナーは守って釣りを楽しんでくださいね。

（生産管理課・土肥）



印刷課
服部さん
自作

営業
坂根さん
自作

DTP エキスパート更新試験が WEB 試験になりました

DTP エキスパート更新試験が WEB 試験になりました。

印刷業会必須の資格で遊文舎でも24名のメンバーが取得しています。この資格。2年に一度更新試験があり、今回から WEB 試験になりました。WEB 試験だと何日もかけて調べて解く事ができません。さてどのようになったのでしょうか？

結論から言うと楽になりました。3回チャンスがあるのでひととおり解いて採点するとその場で結果が出ます。結果もわかるので不正解の分だけ調べて再チャレンジ。うまくいけば一回で終わります。ただ解答番号は毎回ランダムで移動するのでご注意ください。（それにしても日本印刷技術協会が印刷物を辞めるとは、時代を感じませんか？）（たけうち）



編集後記

食欲の秋が近付いてきました。

秋は旬の食材が多いので、食べる楽しみこそが秋の醍醐味！というわけです。春夏秋冬、季節ごとに美味しいものはあるけれど、秋は格別！ということでしょうか。

私も、毎年この季節は冬に向けて栄養を蓄える傾向にあるので、たまには芸術の秋やスポーツの秋に目を向けて、秋を楽しみたいと思うこの頃でした。

（みやまい）